四畳半
ウ
ふ
た
リボ
ス
R-18
成人向け
ネタオレ

4畳半
ウロボロス
ふたり

朝ごはん完成♡

うふふ
今日の目玉焼きは
ちょっとだけ
特別性♡

なんと
フランス産の
岩塩を
使ってるんだよ

ジャンヌちゃんに
教えてもらっちゃった

おきて
着がえて
顔あらって
ごはん
たべよー

ほむらちゃんは
いつもと違う味だって
気づいてくれるかな？

静電気が…

いただきます！

カチャ
まどかはパリパリの目玉焼き上手に作れるわよね
あーん
私が作るとしっとりしちゃって
えへへパリパリ上手でしょ～パパ直伝なんだよ
ドヤ
さあ食べて！味の変化に気づいてほむらちゃん！
あ
ピタ
寸止め
しれっ
そうだった今日は目玉焼きにソースをかけて食べてみるんだった
え？
いつから？
どうして？
バン！
ひぃ！

ほむらちゃんが
ソース派
だったなんて!!

このプレッシャー…

何かまどかの地雷を
踏み抜いて
しまったらしい

そして反射的に
悪魔コスチュームに
なってしまった……

パパがね
目玉焼きを
作ってくれると
いつも味付けは
塩コショウなのは

パパや
ママや
タツヤ…
みんな……
塩コショウ
だったの

タツヤは時々
ケチャップのことも
あったけど

だからきっと
ほむらちゃんも
そうなんだろうな…って

でもほむらちゃん
本当はソースで
食べたいって
思ってた？

その気持ちを
私が汲み取れ
なかった？

ほむらちゃんに
塩コショーを
押し付けていた…
のだとしたら

過去と未来の全てが見えるはずの私にも見えないものがあったんだね

ブルブル

まどかはどうしてしまったというの!?

いえ…まどかがこうなったきっかけは判っている

明らかにこれ…

このソースが原因

どうして…いつも塩コショウなのに今日に限ってソースで食べたいと思ったか

それは小さな好奇心

過去何度も繰り返した時間の一つで早乙女先生が言ってたわ

目玉焼きには醤油ですか？ソースですか？

ビシッ

はい!!中沢君!!

どっちでもいいんじゃないかと…

答えは「どちらでもいい」

当時この答えに疑問を持たなかった気にもしていなかった

何度も同じ時間を繰り返しリ精神も肉体も現実から乖離していた私には目玉焼きなんてどうでもよかったのよ

それに…卵かけご飯……食べてたし…

でも今は違う

まどかは円環の理として魔法少女を救済する女神

私は全世界呪浄化処理プラント『キュゥべえ』の運営と仕事面で充実しているし

安全第一

そろそろ洗うんだほむら

何よりまどかと一緒に暮らしている幸福

ごっ…ごめん
変な空気に
なっちゃったね

今日の目玉焼きは
ちょっとだけ
いつもと違うから

ほむらちゃんに食べて
気づいて欲しかったんだ

それを私がソースを
持ち出したから
台無しになって
落ち込んだのね

『今日のお塩は
いつもと違うね美味しいね
まどかは料理は
どんどん上手になるし
レパートリーも増えたし
ほんとうにがんばりやさんね
大好きよ♡』

って
褒められるかな〜って
舞い上がっちゃって

たとえ私が地獄に落ちても
そこにまどかがいれば
きっとそれこそが
パラダイス

なでなで

壁ドン

ちゅん♡

女の子がときめく
シチュエーション三種盛り
・壁ドン
・頭なでなで
・愛の言葉

なにあの
ポエム!!

独りよがり
だったね

ごめん

違う!
まどかは悪くない

悪いのは私よ
私こそ独りよがり

今わかったの!
早乙女先生が
本当に私たちに
教えたかったことが!

醤油かソース
どちらが
正しいのかという
派閥争いでは
なかったのよ

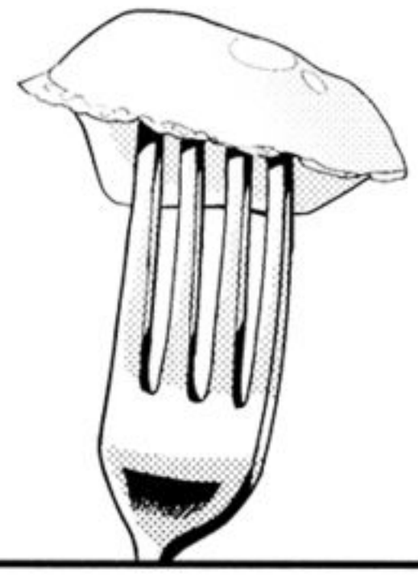
恋人の作った料理に
勝手に味付けを追加する
無神経さを
警告していたのよ!!

なのに私ときたら…!
どうして
私はそんなに愚かなの!!

よよよ…

ごめんね…
まどか…!!

おろおろ



まどか

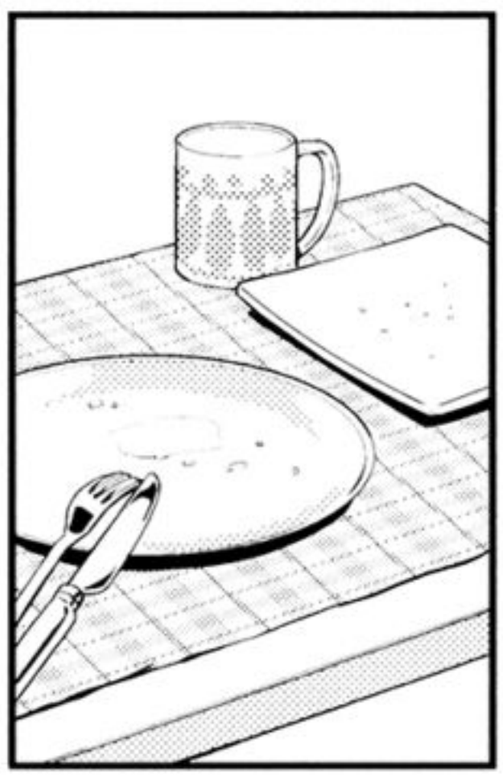
今日の朝ごはん
とっても美味しいわ

うへへ
よかったぁ♡

ちょっぴり
塩味が強いのは
……涙の味なの
かもね

わ！
塩振り過ぎだよ
これ

いつもと勝手が違うから
分量間違えちゃったみたい



ポーッ

わっ！

ほむらちゃん♡

ごろにゃん

お腹いっぱいに
なったから
ゴロゴロしよう〜

今日は朝からケンカに
なっちゃうじゃないかって
不安になっちゃった

ごめん

でもさ
ケンカした数だけ
仲直りしちゃえば
いいんだよ

そう
だけど…

ほむらちゃんはシャイだから
自分の気持ち伝えるの
苦手なの判るよ
私だってそうだもん

言葉より先に行動で
悪魔になっちゃう
タイプだし

まどかだって
神様になっちゃったわよね
私ショックだったのよ…

えへへ
似たもの同士
なんだね

ケンカするのって
怖いわよね

すっかり
嫌われたんじゃ
ないかって…
怖くなる

でも
何も言わないまま
気持ちがすれ違うのは
もっと嫌だから

ケンカできるくらい
そばに居るのが
幸せ…だよ

だからって
ソースでケンカに
なるなんて

ふふ…
おかしいわね

ほむらちゃん好きだよ
私もよ

あっ……っと……じゃなくって

まどか好きよ
んっ

ん♥
ぢゅぢゅ
ぢゅぱぁ♥

ちょこん

テーブルに座るのは良くないと思うわ

あと和室で靴を履くのも

でも昔学校の机に座ってたじゃない足組んで

5話で

あれは…状況が状況じゃない…

5話とかいわない

それに靴は駄目

ちゅ♥

靴なんて汚いから舐めちゃダメ！

めっ！

またまた魔法でいつも新品じゃない

そういう問題じゃない！穢れ…穢れの概念よ

そういう反応するから楽しくなっちゃうんだよ

えーっと…閉じた目なら憧憬

手なら尊敬額なら友情

掌なら懇願腕と首なら欲望

頬なら厚情唇なら愛情

ではそれら以外にキスするのはどういう意味があるでしょう？

それ作ったの？

昔の詩だよ

覚えたのね…

なんなの？わからないわ

そのほかはみな狂気の沙汰

ポ

ポ

ぺろぺろ

悪魔にかどわかされた神様は

ビクッ!

狂気のままに悪魔の足に口付けをし

ちゅる

ちゅる

カリ

ぞくぞくぞく

じゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぷるん
ぷるん
あひっ
きゅぴ
そんな顔しちゃダメぇ
ぞくぞくぞく
ふっ!!
あ!
びくん!
あ!
ボコッ
ぐしゃ
ぐしゃ
はわ
あ
ずるい

ポロン♡

ぬっ

ごめん手が滑ってバランスが…
怪我してない？爪で引っかかなかった？
んー
大丈夫だよ

なんだかこれほむらちゃんに乱暴されたみたいで
ちょっとどきどきする♡
何言ってるの!? 人聞きの悪い!!!
うっとり

魔力開放
バサッ
そんなにいうならしらないわよ
嫌な気持ちになっても
パチパチ
やったー♡

私のこと裂いたよね
しかも人前で

あの時みたいにもっと大胆に迫ってくれてもいいんだよ
ほむらちゃん本当は強引なことも出来る子なんだから
積極的なほむらちゃんも素敵だよ

h

悪魔の足を舐めるのが大好きな変態女神さまぁ
足を綺麗にしてくれたご褒美にどこでも好きなところを踏んであげるわぁ

あ

ちゅ♥

まどか顔真っ赤

どきどき
おどおど
羞恥心を刺激された？
怒ってない？怒ったわけじゃないわよね!?
ちゃんとまどかに満足してもらわないと役をつくらなきゃ
さぁ女神さまはどこを踏んで欲しいのかしらぁ？

どき★どき★どき
こっ
こっこ…
……♡
ぐちゅ
ちょい♥
ぐちゅ

びく！ びく！ びく！

ひゃ♥

ここ？ ここで合ってる？

ぴゃん♥

そっ

ぷしゅぅ♥

あ♥

ぴん♥ ぴん♥ ぴん♥ ぴん♥

きゃっ♥

ぺちぺち♥ ぺちぺち♥

きゃっ♥

きゃっ

敏感なところをこんなに硬くとがらせて

はっ♥

ぴん♥

あっ

かわいいわね♡

ぴっ

はい ご褒美よ

びくっ

びくん♥

ふおっ

びく!! びく!! びく!!

あっ♥

ビン

あっ♥

キュ♥

キュ♥

キュ♥

ぷしゅ♥ぷしゅ♥

ひん

女の子の大切なところを踏まれておかしな声を出すなんて

ふふふ♥

あっ♥あっ♥

ほっ♥

ほむらちゃん♥

女神さまの威厳も尊厳もどこへいったというのかしらぁ？

はふッ！ほむらちゃんの前ではっ……!!

ビンビン!!

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ビンビン!!

ぞく! ぞく! ぞく!

ふあっ!!

あぁ

普通の女の子ッ!!

だもん!!

ブルブル

お格好まりこうの子は
も好はしないとう
うのだけいとう
お普通の女
ぶんぶん
必要よねもつ正直な
ねとこ優美が
女神さまには
ぶんぶん
ぶんぶん
ぶんぶん

ぷしゅーん☆

ぷっ

あっ

さわさわ

ぷるん

ほむっ

ちゅぱん

ふー

ふー

ふー

くちゅ♡

ガブ

くちゅ♡

あぁっ!!

くちゅ

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

まどか
気持ちいいの？

足で
触られてるのに
気持ちいいの？

ちゅこ

ちゅこ

ちゅこ

コリ

コリ

ほっ

むっ

ひっ

ひゃっ

だめ!!

くちゅ♡

きゅん♡

きゅん♡

あっ

もうだめ

ビクン!

ぞくぞくぞくぞく♡

終わっちゃう…

じわわ～
じん♡
じん♡
じん♡
はー
はぁー
はぁー
ぴくん★
ぴくん★
あっ
ぐりん
わっ!!
もちあげるわよ
えへへ抱っこしてくれるの？
ほむらちゃんどうしたの？
…
足で踏むのはやっぱり…ちょっと酷いことしてるみたいで…
まどかは…楽しそうだったけど…
唇にキスも出来ないし抱きしめることも
なんだかまどかが遠く感じたというか…私ひとりでいるみたいで…
ぎゅ…

ほむらちゃん
拗ねちゃった？

…そうね
そうなのかも…

そっか

よく気持ちを
伝えられました
ほむらちゃん

足で踏むのは
まだ高度過ぎたね

ごめんなさい
楽しめなくて…

えー
謝らないで

エッチは二人でするんだから
二人で楽しいことしないと
独りよがりはダメだもんね

うん

よっし！
じゃあ
ほむらちゃんは
何がしたいのかな？

二人がしたい事を
しようよ!!

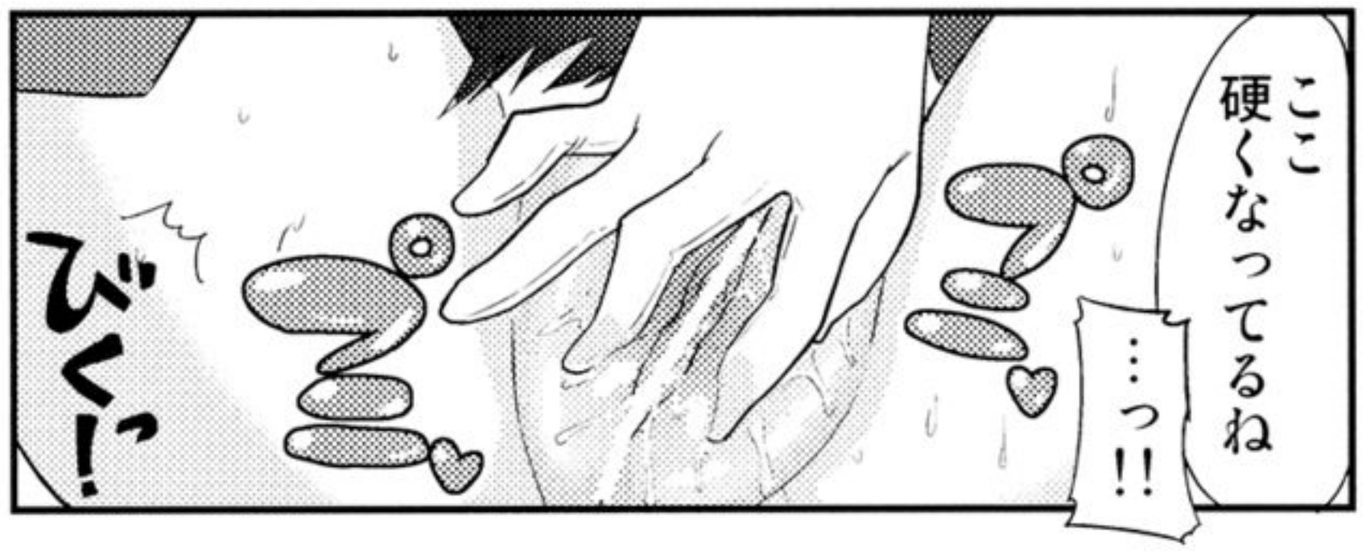
それは…
やっぱり

待って
先に
お布団敷くから

どきっ!
ん~!
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅるるる♥
あふっ
ちゅ♥
キスをしましょう
んっ♥
んっ♥
んんー♥
もごもごん~

ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

ちゅ♥
んあっ
んふ
ふう
んん
んっ
ふう
くちゅ
くちゅ
くちゅ
はむ
んちゅ
んあっ
ぐいっ
ぷくぷく
ちゅ♥



こりこり
でもほむらちゃんが一番欲しいのここじゃないよね
ぺろ
どこをさわって欲しいか教えて欲しいなぁ具体名で
そっそんな事いえないわよ！
え～どうして？
はずっ…恥ずかしいから！
ぺろオ
むふ～♡
むふ～♡
むふ～♡
ちゅ♡ちゅ♡
ちゅ
もみもみ
あっあっまどかあっ♡
はっ！
はっ!!
ぞく！
ぞく！
ぞく！
ぬぎ
ぬぎ
ふ～～～ん
じゃあ当てずっぽうでさわっちゃうね♡
コリ♡
こりこ
ぴゅ！
ピン
むぁ♡
ガク！ガク！ガク！
コリ♡
ちゅこ♡
コリ♡
ちゅこ♡
コリ♡
ちゅこ♡

まぁ!

どき☆ どき☆ どき☆

はっ! はっ! はっ!

ぴちゃ ぴちゃ

ちゅこ ちゅこ ちゅこ

キュッ! キュッ!

ぴん

ぴっ

ポタポタ

ひっ!!

!!

ガクガクガク

イッ♡

ぐぐぐ!!

じんじんじん

早かったね ほむらちゃん

はっ! はっ

だって… だってぇ

はっ!

くすっ

はっ!

はっ!

でもまだ終わりじゃないよ

まだまだキスしてないところがいっぱいあるでしょ?

やろう♡

はー

はー

ほあああ!

どぎゅん

あっ

はっ!!

はっ!!

ぷるぷる

ちゅぱ ちゅぱ ちゅぱ

んっ♥

ちゅぱ ちゅぱ ちゅぱ

きゃ

ん―っ

ん―っ

ちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅっ♥

つちょっ…と休ませて…よッ!!

くにゅ くにゅ

ほむらちゃんちゅるちゅるにとろけて…

ちろ ちろ

びくっ! びくっ!

びくっ!

びんかん…だからっ…!!

びくっ!!

ぎゅ

ばか!!

ばかぁ…

かわいい♥

ふふ♥

あっ

ちゅる♥ちゅ

ふ——ッ

ふ——ッ

ピクン ピクン

ぬぬぬ♥ぬ

ぐちょ ぐちょ

ドクン

ぱっぱ

ぱっぱ

ぱっぱ

上手にあわせないと
くちゅ
気持ちよく
ならない
ビクン！
ぐちゅ♥
よッ!!
ぐちゅ♥
ズキン！ズキン！
ガクン
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぴん！
ぴん！
ぬるぬる
ぬるぬる
カクカクカク
はっ！
はっ！
はっ！
はっ！
はっ！
ん！
きもち
いい♥
きもち
よく
してくれる
んでしょ？
悪魔さん
あん
あ！
いく！
ビクッビクッ！
まだだめ！
はっ
わたしの
ことも
ひゃ
ん♥
ぷるぷる
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

まどか
もっと
そばにきて!!

グイッ!

びくん!

びくん!

びくん!

まどかぁぁ♥
むらちゃん♥

あっ

あっ

あっ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

もう何も
やる気が無いの
だけど…
洗濯してないのに

わたしも〜
ぐったり…

『そのほかは
みな狂気の沙汰』

それって…
解るような
解らないような

手も額も頬も唇も…
その他すべてどこだって

私はまどかに
キスされると

まどかに
食べられてる
みたいで

まどかの身体の一部に
なってるようで

すべて許されているような
幸せな気持ちになるの

それに……
嬉しいの

食べてくれる
ことが

これって狂気
なのかしら？

まどかには
わかる？

わかるよ
そんなの
フツーだよ！

ええ!?
本当に？

だってさ～
なんか
わかっちゃうん
だもん

ほむらちゃんとキスすると
お腹も胸も手も足も…
体中があったかくなるんだ

心臓は
どきどきするし

お腹の中は
きゅって
甘酸っぱくなるし

私はほむらちゃんのこと
キスで食べちゃって
お腹を満たすんだよ

きっと
それが栄養に
なってさ

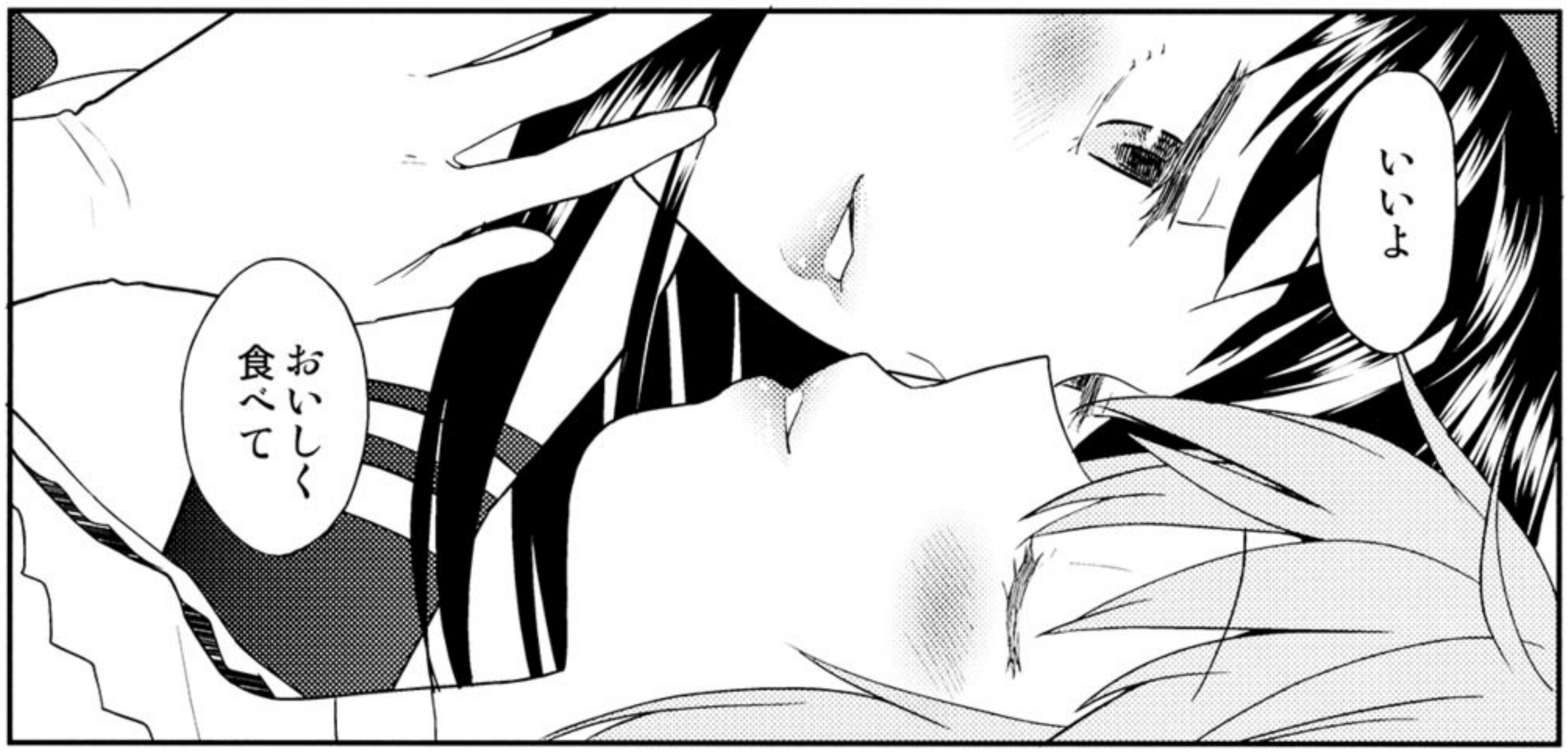
好きとか恋とか
愛情を育ててるの

キスをしたら
それだけ
強くおおきく
育つんだよ

わかってくれる？

ええ

さっきは
まどかが私のこと
たくさん食べて
くれたから
私も失った分を
取り戻さないと
釣り合いが取れないわ
どんっ


いいよ
おいしく
食べて

わたしはあなたを吸い尽くしてまるきりひとつになりたい

食べて

あわたしにもあなたにも吸われて一欠けらもなくひとつになりたい

食べて

あとがき

前回作った本『過酷少女絵録·惨』がシリアス系の
重たい内容であったので、次に作る本は明るい
お気楽な本にしよう！…と思って出来たのがこの
ような内容になりました。

アルティメットまどかと悪魔ほむらが四畳半で同棲
してるというシチュエーションは原作を観ても
まったく根拠の無いシチュエーションなんですが、
どうして四畳半になったのか描いた本人もよくわかってお
らず、
「根拠の無いことを好き勝手に作れるのが二次創作の
良いところなんだなぁ」
という魔法の言葉で最後まで走りました。
楽しんでいただけると嬉しいです。
ちなみにコンロは一口です。

まどかが目玉焼きには塩コショー派だとおもったのは
TVシリーズ4話冒頭の目玉焼きにコショーらしきものが
かかっていたので、塩コショー派ということにしました。

あと13ページのキスに関する詩はフランツ·グリルパル
ツァーの『接吻』というものでした。

アルまどと悪ほむのお話はいつかシリアスものも描きたいと
思いつつ今回はさようなら。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

あやね

奥付

■発行年月日■
2014年12月30日

■サークル名■
ネダオレ

■連絡先■
URL:http://homepage3.nifty.com/nedaore/
MAIL:nedaore@gmail.com
pixivID:2911523

■印刷会社■
栄光印刷

無断転載·無断複製禁止

四畳半ウ〇ボ〇スふたり
ネタオレ